

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社  
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

春といっても朝夕はまだまだ冷え込みますが、お元気にされておりますでしょうか。

今生天皇が4月30日に退位され皇太子が5月1日に即位され平成の時代が終わることが決定されました。天皇陛下におかれましては、国民と共に歩むということもお話され感銘を受けておりました。新しい時代に期待がもたれます。

## サンライズの物語

自分よりも周りのみんな——

人を思いやる心に胸を打たれる物語



その方は夫が亡くなってから独りで生活をされていた方でした。脊柱管狭窄症に罹患してからも痛みで動けなくなるまで日本舞踊を舞い自宅でカラオケなどを楽しんで充実した余生を過ごされておりました。

歩行が困難になっても室内で車椅子を自走し腰の痛みがあっても自分自身で「頑張れ、頑張れ」とベットへの移乗をしていた姿が忘れられません。

そんな中少しずつ身体機能、認知機能は低下しベット上の生活となってしまったのです。以前中国で社長秘書をしていた事もあり中国語が得意でヘルパーが訪問すると中国語で話されたり歌を歌ったりしていたのです。

ある日誤嚥性肺炎になり食事を摂ることも忘れ高栄養剤のみを摂取して生命を維持し続けていました。定期訪問で訪問すると自分のことよりも私の手を取り「手が冷たいから布団の中へ入れて温めなさい」と自分の手で私の手を温めてくれた優しい方でした。

自分が何も出来なくなっても人を思いやる姿に涙が零れて止める事ができなかったのを思い出し胸が熱くなります。

身体機能や認知機能が低下しても自分よりも相手への優しさや思いやりを忘れないこと・・・どうしたらできるんだろうと何時も考えます。その方の頭の奥にある何にも阻害されない記憶・・・人間の無限の力を感じた瞬間でした。

## サンライズのデイサービス陽光だより



【看護師】村田 朋

サンライズのデイサービス陽光の看護師の村田 朋です、よろしくお願いいたします。

44年ほど病院や介護施設等でナースとして勤務しておりました。皆様に安心して過ごせるように頑張っております。

【入社11/1】 【血液型B型】



井上から  
エール!

経験や知識が豊富なベテランナースさんです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 介護に役立つ書籍紹介

利用者の思いにこたえる  
介護のことばづかい

著：遠藤織枝、三枝令子、神村初美

「『です・ます』で話してください」「行き過ぎたていねいさは不愉快」「幼児語で話さないで」「略語は意味がわかりません」……アンケートとインタビューで明らかになった〈介護される側〉の声を多数紹介し、望ましいコミュニケーションのありかたを考察する。



### NEWS 今月のニュース

#### 次世代の介護体感 神埼清明高校でロボット活用 講座

介護ロボットの普及促進や介護の魅力向上を目的に県が開くセミナーが2月26日、神埼市の神埼清明高（岩村彰校長）で開かれた。県内の高校で開催されるのは初めて。生活福祉系列の2年生14人が、佐賀大医学部附属病院の理学療法士北島昌輝さん（40）から介護ロボットの利便性や活用方法などについて学んだ。

北島さんは、高齢者が増加していく国内傾向や介護人材が不足している現状を示し、「世界に先駆

けて、介護ロボの利用が進められている」と説明。医療や介護現場で使われているさまざまな種類のロボットを紹介し、生徒たちは真剣な表情で聞き入っていた。

実際にロボットを活用した介護体験も実施。リハビリで用いられることが多い歩行アシストロボットを使った生徒たちは「自転車をこいでいるような感覚で足が動く」と驚いた様子。介護時の腰への負担軽減を目的としたロボットを使って車いすからベッドに移す体験をした生徒は「腰が押し上げられる感じ」と普段との違いを実感した。

小川茜さん（17）は「高齢化

や介護人員の不足で、いま勉強しているやり方が難しくなることが分かった」という。この日学んだ介助方法などに触れ「これからの実習で生かしていきたい。また、新しい道具に触れる機会があれば、どんどん挑戦していきたい」と話した。



<佐賀新聞  
2019年3月2日(土)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>